IAT_EX の環境構築

20B01392 松本侑真

2022年11月23日

目次

1	PDF ビュアーについて	2
2	VSCode について	2
3	WSL2 について	2
1	ディストリビューションの競合問題について	2
2		3
4	SettingJson	3
5	T _E X のエラーについて	3
1	bib を入れたときのエラー	3
2	longtable の include 順番	3

1 PDF ビュアーについて

SmatraPDF の詳細設定 https://www.sumatrapdfreader.org/docs/Advanced-options-settings

```
InverseSearchCmdLine = "C:\Users\yuuma\AppData\Local\Programs\Microsoft VS Code\Code.exe" "
C:\Users\yuuma\AppData\Local\Programs\Microsoft VS Code\resources\app\out\cli.js" --ms-
enable-electron-run-as-node -r -g "%f:%1"
```

としたら PDF から tex ファイルへの場所がわかるらしいが、うまくできないので保留。

- 2 VSCode について
- 3 WSL2 について
- 1 ディストリビューションの競合問題について

VSCode において wsl.exe を実行したときに起動されるディストリビューションは規定のものなので、2 つ以上のディストリビューションを用いている際には注意が必要。解決法としては、以下のようにディストリビューションを指定すれば良い。

Listing 1: ディストリビューションの指定

2

- 4 SettingJson
- 5 T_FX のエラーについて
- 1 bib を入れたときのエラー

\bibliographystyle{junsrt}を入れて、それを消して再び入れたときにエラー吐く。そのときは out フォルダを削除すれば再びコンパイルできるようになる。

2 longtable の include 順番

```
% 表関連のパッケージ
\usepackage{booktabs}
\usepackage{multirow}
\usepackage{longtable}
\usepackage{arydshln}%表で破線を使うため
\usepackage{multicol}
```

% longtable を usepackage する場合は順番が重要らしいです。longtable と arydshln の順番逆にしたらエラーはく(コンパイルはできるが…)

longtable の使い方は以下。

```
\begin{longtable}{rrrrr}
\caption{Add caption}
\toprule
 theta\_1 & r2v & r3v & x & y \\
 \midrule
\toprule
 theta\_1 & r2v & r3v & x
                    & y \\
 \midrule
\midrule
 \mbox{\mbox{\mbox{$\sim$}}r}{\mbox{\mbox{\mbox{$\sim$}}}} \ \\ %
 <-----
\bottomrule
49.22794 & 0.35873 & 0.39838 & -0.57966 & 0.62744 \\
  36.26729 & 0.06672 & 0.05691 & 0.02389 & 0.70802 \\
  9.63361 & 0.22289 & 0.07941 & 0.29043 & 0.77239 \\
  65.17496 & 0.25439 & 0.17791 & -0.54248 & 0.60032 \\
  55.23141 & 0.26525 & 0.42388 & -0.57985 & 0.48911 \\
\end{longtable}
```